

4月12日(月) 晴れ 「こんな所にあった～」 ユキグニミツバツツジ



日本海側の多雪地に見られ、枝先にひし形をした3枚の葉を出すことからこの名が。勝手に持ち帰るせいか、全国的に自生のものを見る機会が減っているとか。

当地では身近な所では2本のみで、大切にしています。  
(散策路)

### 「まさに天に昇る2竜!!」 アサダ

兵庫県では貴重な樹木です。樹皮は縦に裂け、小さな薄片となって下から反り返ります。固くて緻密な樹木で、特に、フローリングには最適とか。しかし、当地でも、散策路沿いには数本しかありません。どこにあるか見つけてください。

(散策路)



カスミザクラです。

遠くからだど“かすみ”のように見えることからこの名が。開花期はやや遅く、若葉と共に花を付けます。散策路の展望の広場にその雄姿が見られます。秋の紅葉も美しいです。

4月13日(火) 曇り



左は、ヤマルリソウの群生写真です。山の恵みビオトープ奥の溪流山斜面です。放置していれば、シカの食害で地肌がむき出しのため地滑りが危惧されました。

そこで、一昨年に金網を張りシカ防御した結果、今春は緑と花におおわれました。早春の薄暗い林の中に、ほの白く輝くような花を咲かせます。



#### 「春の妖精」ヒメウス 当地、新種です！！

落ち葉が溜まった山の斜面で見つけました。目を凝らして探すとあちこちに咲いているのに驚きました。うつむきに咲き、果実は熟すと上を向きます。ちなみに、姫烏頭(ひめうず)の烏頭はトリカブトのことです。漢方に使われる記述もありますが、食用にはしません。



#### 「これがイチリンソウです」⇒

キクザキイチゲと葉がよく似ています。これも春の妖精で、かわいい花をつけます。でも、毒草です。